



# IoT機器を活用したフレイル予防事業の実施について



## 【背景・目的】

本市の要介護認定率は全国平均や県内他自治体と比べて高く、また、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響等により、要介護リスクが高まるフレイルの進行が危惧されている。

このことから、IoT機器を活用し歩行を見える化・評価するとともに、簡易的なアドバイスを行うことで、フレイルの早期発見・予防につなげるもの。

## 【事業内容】

希望者にモーションキャプチャ付きの専用スパッツを装着し歩行していただき、専用のソフトウェアで解析を行い、実測値、スコア、簡易的なアドバイスを記載した評価シートを作成し提供する。

MaaS車両に測定機器を搭載し、出張行政サービス「お出かけ市役所」として公民館や集会所等へ訪問した際や、健康イベント等で実施する。



## 【対象者】

測定等を希望する市民

## 【実証期間】

令和5年1月～3月

